

労働者協同組合法
成立記念作品

人は人のために働いて
支え合い、
人のために死ぬ。
結局はそれ以上でも
それ以下でもない。

これは人間の仕事である。



北区滝野川会館 大ホール 北区西ヶ原 1-23-3(駒込駅北口10分他)

中村哲は問う——“働く”とは何か、“仕事”とは何か、そして“平和”とは!

9/18(水)14:00 開場 13:30

【申込】↑QRコードもしくは
FAX03-5967-1266

参加費：一人1,000円(障がい者/大学生500円 高校生以下無料)

でお名前と鑑賞希望日時等をお知らせ
ください。(問)☎03-5967-1248

先着申込制500名 上映(47分)後、企画者によるアフタートークあり

受付：平日 10:00~17:00

医師中村哲の 仕事・働く ということ

語り◎室井滋 朗読◎塚本晋也

写真・映像提供◎ペンワールド会/PMS

企画提供◎日本労働者協同組合(ワーカーズユニオン)連合会センター事業団

一般社団法人 日本社会連帯機構

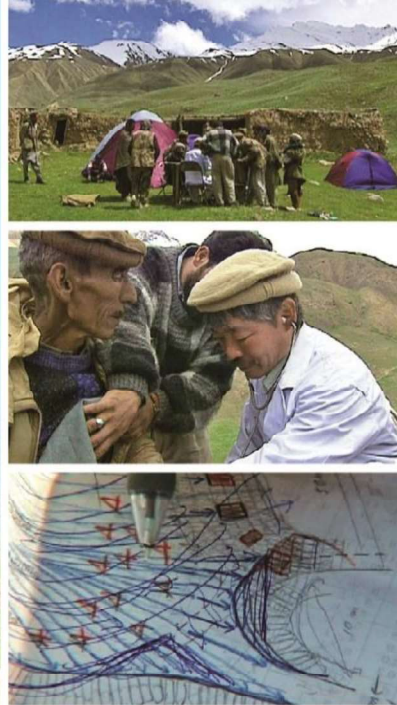
製作◎日本電波ニュース社 HD/16:9/カラー/47分





医師中村哲の
仕事・働く
ということ

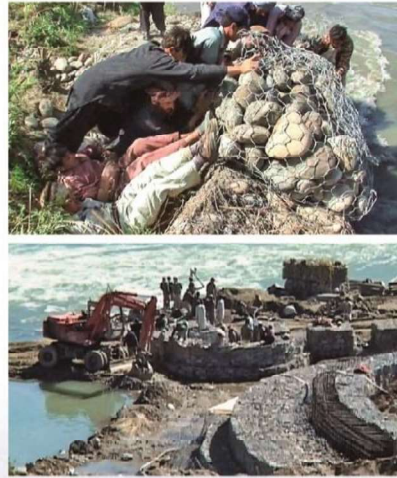
アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり
活動を続けた男がいた。



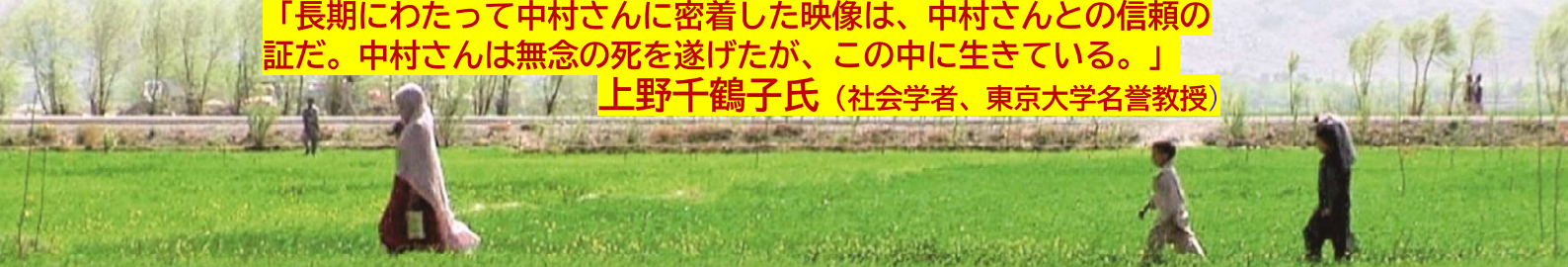
1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は「現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと」である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。
親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。
中村医師は言う「これは人間の仕事である」



「長期にわたって中村さんに密着した映像は、中村さんとの信頼の証だ。中村さんは無念の死を遂げたが、この中に生きている。」
上野千鶴子氏（社会学者、東京大学名誉教授）



9/18(水)14:00～ 30分前より受付/開場 *申込制先着500人

会場:北区滝野川会館 大ホール (北区西ヶ原 1-23-3)

参加費:一般1,000円 学生・障がい者 500円、高校生以下無料
上映(47分)後、企画者によるアフタートークあり
【申込】以下、ご記入し FAX(03-5967-1266)



もしくは右上 QR コードでお申込みください

お名前	時間	□9/18(水) 14:00 (開場13:30)	
ご所属・地域	他名前		
電話番号	mail	@	

- JR京浜東北線上中里駅東口下車 徒歩7分
- JR山手線駒込駅北口下車 徒歩10分
- 東京メトロ地下鉄南北線 西ヶ原駅下車 徒歩7分
- Kバス(コミュニティバス) 王子・駒込ルート⑩旧古河庭園 徒歩1分
田端循環ルート⑪滝野川会館 徒歩1分

9/16 (月・祝) シニア・ワーカーズコープの設立にむけたフォーラムを開催します。
元気高齢者の「仕事おこし」「まちづくり」に関心がある方は是非ご参加ください。
会場:池袋ワーカーズコープ本部 詳しくは右 QR コードから (参加申込みもできます)
(問) ☎09047492705

